

平成 2 8 年 度

事 業 報 告 書
決 算 報 告 書

自 平成 2 8 年 4 月 1 日

至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

平成 2 9 年 6 月 6 日

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

事業報告

循環型社会の構築を目指し、行政・消費者・産業界が緊密な連携のもとに3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）活動を推進することを目的として、平成28年度は以下の事業を実施した。

1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の実施

3Rに率先して取り組み、顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を実施した。

平成28年2月末に推薦要領を協議会会員団体、全国の都道府県、政令指定都市、中核市、特別区、建設副産物対策地方連絡協議会に配付し募集を行った結果、121件の応募があった。

推薦案件について審査委員会（委員長 東京大学名誉教授 木村文彦氏 他13名）において厳正な審査を行った結果、内閣総理大臣賞1件、財務大臣賞1件、文部科学大臣賞2件、農林水産大臣賞1件、経済産業大臣賞1件、国土交通大臣賞7件、環境大臣賞1件、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞56件、計70件を表彰するとの結論に至り、10月25日（火）東京・竹橋のKKRホテル東京において表彰式を挙行了た。



< 内閣総理大臣賞状の授与 >



< 内閣総理大臣賞受賞者の講演 >



< 受賞会場の様子 >



< 受賞会場での3R推進ポスター及びデザインコンテスト入賞作品の掲示 >

(1) 受賞者

応募案件について審査委員会で慎重に審査した結果、次の70件を表彰することとなった。

内閣総理大臣賞(1件)

「事業所・地方公共団体等」分野(1件)

株式会社リコー リコー環境事業開発センター

「個人・グループ・学校」分野は、該当なし

財務大臣賞(1件)

「事業所・地方公共団体等」分野(1件)

株式会社リカーマウンテン

文部科学大臣賞(2件)

「個人・グループ・学校」分野(2件)

学校法人本城学園 本城東幼稚園

吉賀町立柿木中学校

農林水産大臣賞(1件)

「事業所・地方公共団体等」分野(1件)

全国みりん風調味料協議会

全国発酵調味料協議会

【2者連名】

経済産業大臣賞(1件)

「事業所・地方公共団体等」分野(1件)

リプロントーフ株式会社

国土交通大臣賞(7件)

「事業所・地方公共団体等」分野(7件)

鹿島建設株式会社・株式会社大林組 東京外環自動車道 国分工事特定建設工事共同企業体

株式会社大林組 大阪本店 淡路町3丁目工事事務所

357号東京港トンネル(その2)工事 大林・鹿島特定建設工事共同企業体

株式会社竹中工務店 東関東支店 東関東支店ZEB化改修工事

株式会社竹中工務店 技術研究所+東京本店技術部

阪神高速道路株式会社 建設・更新事業本部 堺建設部

鹿島・飛島建設工事共同企業体 関西支店 大和川シールドJV工事事務所

【2者連名】

福岡市（福岡県 福岡市）

環境大臣賞（1件）

「事業所・地方公共団体等」分野（1件）

京都市ごみ減量推進会議

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞（56件）

霧島酒造株式会社

群馬県立伊勢崎興陽高等学校 植物バイオ研究部

広島県福山市立春日小学校

高崎市立倉渕中学校

ロート製薬株式会社 上野テクノセンター

キリンビバレッジ株式会社 生産本部 技術部

キワ化学工業株式会社

富士ゼロックス株式会社

富士ゼロックスアドバンステクノロジー株式会社

【2者連名】

株式会社リコー CT&P事業部

株式会社鴻池組 JR和歌山耐震補強工事事務所

平成26-27年度 山伏トンネル工事

西ノ島小中学校校舎・屋内運動場建設工事（建築主体）工事事務所

株式会社鴻池組 我孫子アンダーパス工事事務所

株式会社鴻池組 首都高青葉工事事務所

株式会社鴻池組 座間(H25)宿舎新設建築その他工事(2工区)

株式会社鴻池組 東北支店 岩沼市二野倉排水ポンプ場復興建設工事

鹿島建設株式会社 関東支店（仮称）SGリアルティ東松山新築工事事務所

鹿島建設株式会社 関東支店 茨城地区 山田製薬 霞ヶ浦工場 第1工場棟建設工事事務所

鹿島建設株式会社 横浜支店 アステラス製薬焼津工事事務所

鹿島建設株式会社 中部支店 天理教愛町分教会工事事務所

鹿島建設株式会社・株式会社鴻池組・株式会社佐伯建設企業体 新大分発電所第3号系列(第4軸)増設工事事務所

鹿島・三井住友・荒井特定建設工事共同企業体 旭川十勝道路 富良野市 北の峰トンネル工事事務所

鹿島建設株式会社 関東支店 東京ガス古河・真岡幹線建設工事事務所

鹿島建設株式会社 関東支店 武蔵水路中流部改築工事事務所

鹿島建設株式会社 横浜支店 海老名駅西口基盤整備工事事務所

鹿島建設・JPHITECK特定建設工事共同企業体

鹿島・飛島・松本特定建設工事共同企業体 五ヶ山ダム堤体建設JV工事事務所

株式会社大林組 東京本店 MFLP日野工事事務所

株式会社大林組 名古屋支店 & プロジェクト“ B ”
株式会社大林組 株式会社鴻池組 JV 新名神野登 JV 工事事務所
株式会社大林組 名古屋支店 新名神野登東工事事務所
【2者連名】
株式会社大林組 名古屋支店 名城大学ドーム前工事事務所
清水建設・大本組建設工事共同企業体 九頭竜川左岸用水路建設工事
清水・熊谷特定建設工事共同企業体 外環東名 JCT 本線シールドトンネル立坑工事
清水建設株式会社 (仮称)港区芝浦1丁目計画建設所
清水・千代田・シブヤ・田村建設工事共同企業体 秋田市新庁舎建設工事作業所
株式会社竹中工務店 東京本店 杏林大学井の頭キャンパス新築工事作業所
株式会社竹中工務店 北海道支店 北菓楼札幌本館建設工事
株式会社竹中工務店 名古屋支店 ささしまライブ24地区グローバルゲート新築工事作業所
株式会社竹中工務店 名古屋支店 福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事・福井駅西口中央地区屋根付き広場上屋新築工事
大成建設株式会社 大日本印刷市谷工場整備計画建設工事(D工区)作業所
大成建設株式会社 東北支店 気仙沼市防集移転造成工事
五洋・NIPPO・錦建設工事共同企業体 広島市営吉島住宅更新事業
積水ハウス株式会社 東京マンション事業部
東急建設株式会社 首都圏建築支店
【2者連名】
MJR 六本松新築共同企業体 西松・松尾 JV
戸田建設株式会社 九州支店 独立行政法人国立病院機構九州がんセンター新築工事
戸田建設株式会社 九州支店 (仮称)総合スポーツセンター体育館新築工事
株式会社熊谷組 北陸支店 土木部 北上シールド作業所
株式会社竹中工務店 東北支店 福島県本庁舎耐震改修工事作業所
イオンモール堺鉄砲町新築工事
市立吹田サッカースタジアム 新築工事作業所
株式会社NIPPO
西日本旅客鉄道株式会社 新幹線管理本部 姫路新幹線保線区
松本市消費者の会波田地区
株式会社グリーンシステム
横浜市資源リサイクル事業協同組合 学校等アルミ缶もったいないプロジェクト
鴻池組・リマテック・河崎組・山陽建設・壺山建設・RTT・山興緑化広島市災害廃棄物処理業務共同企業体

(2) 表彰結果の広報

受賞者の3R活動の概要をまとめた「平成28年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰結果発表」冊子を1,100部作成し、467部を審査結果解禁日(10月20日)に合わせて関係省庁の記者クラブに、250部を表彰式会場で受賞者等にそれぞれ配付した。

また、協議会会員、推薦機関に1部ずつ（合計218部）配付した。

他には、第11回3R推進全国大会（10月20日開催）における出展ブースにおいて、内閣総理大臣賞受賞者の取組を紹介するとともに、平成28年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の結果発表冊子を配付した。

（「平成28年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰結果発表」冊子）



(3) 他機関による表彰結果の紹介

受賞に関する報道・告知等が、受賞者（主に企業やグループ）、推薦者、報道機関（一般紙、業界紙）、公共機関等のホームページ、刊行物、メールマガジンで行われた（結果発表日（10月20日）以降）。

<掲載例>

（関係省庁のプレスリリース）



(マスメディアの紹介例)



(受賞者による紹介例)



(4) 表彰運営の見直し

11月29日に第3回審査委員会を開催し、表彰に関わる問題点などを議論し、昨年に引き続き、受賞者が年々減少傾向にあること、また受賞者への案内を行う期間を取るためにスケジュールを全体的に早めることなどを議論した。

(5) 受賞活動の活動発表会「優秀3R推進活動発表会」の開催

平成28年度の実施内容

6月7日(理事会・総会后)、平成27年度の表彰の内閣総理大臣賞及び各大臣賞受賞者から受賞取組を紹介いただくとともに、特別講演を2省庁からいただいた。

(詳細は、「3・3R推進事業の活動強化」の「(3) 優秀3R推進事例発表会」にて記載)

平成29年度の開催準備

過去の表彰における大臣賞受賞者の受賞取組とその後の発展状況などを平成29年度理事会・総会終了後に講演いただくことを企画し、企画運営委員会での検討を経て、講演の打診、会場の手配などの準備を行った。

(6) 受賞後の取組についてのフォローアップ

新たに平成 25、26 年度の内閣総理大臣賞及び各大臣賞受賞者について、受賞後の取組状況や発展状況のフォローアップ調査を開始した。並行して、過去に実施したフォローアップ調査（対象年度：平成 17～24 年度）の再フォローも行っている。

（「3．3 R 推進事業の活動強化」の「(6) 優れた 3 R 活動事例の普及啓発（3 R 推進功労者等表彰受賞者の活動広報）」に関連情報を記載）

2. リデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークの普及・利用促進

(1) リデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークの利用許諾

3 R の理解と 3 R への参加・協力を呼びかけるキャンペーンマークを、3 R 実践活動や普及啓発に取り組む企業・団体・市民グループ・地方自治体等に広く利用していただいた。

< 使用例 >

(地方公共団体 暮らしの便利帳)



(不動産会社 ポスター)



(大学 3 R の取組紹介冊子)



(業界新聞 3 R 広告)



(2) リデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークの広報

「3Rキャンペーンマーク 使用の手引き」を平成28年度の功労者等表彰の結果発表冊子にも掲載して、マークの利用の訴求を行った。

また、9月に全国の地方自治体(1,788団体)の3R関係部署に「3Rキャンペーンマーク 使用の手引き」を送付し、これらの市区町村に対してマークの利用の訴求を行った。

3. 3R推進事業の活動強化

(1) 企画運営委員会

協議会活動を充実させるべく企画運営委員会を設置し、活動強化策の検討を行った。

具体的には、また、3R推進ポスターのデザイン選考、3R連絡会、優秀3R推進活動発表会などを行った。

費用の発生する案件について、実施内容の精査、実施の承認(費用は「3R推進事業費」から支出)を行った。

前年に引き続き、17名のメンバーにて活動した。

企画運営委員： 中村委員長、大石副委員長、他15名

氏名	所属機関
中村 直	一般社団法人エンジニアリング協会 理事
大石美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 代表理事・副会長・環境委員長
加藤 聡	ガラス再資源化協議会 代表理事
幸 智道	ガラスびん3R促進協議会 事務局長
新妻 弘章	建築廃物リサイクル広報推進会議 上席参事
中田 良平	スチール缶リサイクル協会 専務理事
細川 浩之	一般社団法人セメント協会 生産・環境部門リーダー
小川 喜弘	電気事業連合会 立地環境部長
前田 泰史	一般社団法人日本ガス協会 環境部長
天川 紀子	一般社団法人日本建設業連合会 参事
村田 利明	一般社団法人日本産業機械工業会 環境装置部長
目黒 雅也	一般社団法人日本自動車工業会 環境対応部長
関口 清則	一般社団法人日本自動車部品工業会 技術部長
瀧川 充朗	日本繊維板工業会 専務理事
國澤 典生	一般社団法人日本道路建設業協会 常務理事
平田 成	公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研究室長
富田 斉	一般社団法人プラスチック循環利用協会 広報学習支援部長

オブザーバー： 関係7省庁担当官

< 委員会開催日 >

- 第1回 平成28年6月1日 於：経済産業省 別館104会議室
第2回 平成28年6月30日 (3R推進ポスター選考会)
於：(一社)産業環境管理協会 AB会議室
第3回 平成28年10月7日 於：経済産業省 別館114会議室
第4回 平成28年12月16日 於：経済産業省 別館105会議室
第5回 平成29年3月17日 於：経済産業省 別館103会議室

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせて、3Rの普及啓発を強化するために有志6名によるワーキンググループが発足。本年度は会合を4回開催し企画検討を行った。

(2) 3R連絡会

行政、会員団体等が相互に情報を提供し合い、広範な3R動向の把握、交流を行った。

1) 実施状況

第1回 平成28年10月7日

話題提供者	テーマ
建設副産物リサイクル広報推進会議	建設副産物の3Rについて
スチール缶リサイクル協会	スチール缶について
経済産業省	小型家電リサイクル法について

第2回 平成29年3月17日

話題提供者	テーマ
ガラスびん3R促進協議会 (3R推進団体連絡会)	(2テーマ) 容器包装3Rのための第3次自主行動計画 消費者意識調査結果について
一般社団法人日本産業機械工業会	3Rリサイクル研究会の活動状況について
ガラス再資源化協議会	太陽光電池パネルリサイクルサプライチェーン構築に向けた動静脈の取組について

2) 実施結果の広報

実施内容は、協議会ホームページにて公開した。

http://www.3r-suishinkyogikai.jp/event/3r_meeting

(3) 優秀3R推進活動発表会

平成27年度3R推進功労者等表彰の大臣賞受賞者に、受賞の取組や受賞後の発展について発表していただき、行政所管、産業分野を越えて広く共有化、普及啓発を図った。

また5月にG7サミットが日本で開催されたため、2省からG7における3Rの話題に関連する特別講演をいただいた。

1) 実施状況

開催日時：平成28年6月7日 15:00～16:50

開催場所：機械振興会館地下3階 研修-1

発表者	テーマ名
経済産業省	特別講演： 資源効率・循環経済政策に関する動向と今後の政策展開
環境省	特別講演： G7富山環境大臣会合における富山物質循環フレームワークについて
第一パイプ工業株式会社	電線被覆材等を活用した大型・高強度再生プラスチック製品の製造によるプラスチックの循環
学校法人関西大学 佐治スタジオ	地域再生・交流拠点としての空き家リノベーションの実践と住民による空き家活用活動
株式会社ウジエスーパー 株式会社ウジエクリーン サービス	エコガニック with ノーマライゼーション」食品スーパーが提案する環境ループ事業

来場者数：44名（講演者、運営スタッフを除く）

（発表会の様子）



2) 実施結果の広報

後日、当日のプレゼンテーション資料（PDF）を協議会ホームページで公開した。

<http://www.3r-suishinkyogikai.jp/event/material#h28>

(4) 3R推進ポスターの制作・配布

工場、工事現場、オフィス、流通などのビジネス現場や公共の場において事業者等に3R活動の推進を促すポスターを制作するため、ポスターデザインコンテストを開催し、平成28年度は134点の応募があった。厳正な審査の後、最優秀賞1点、佳作11点を選出し、最優秀賞の作品を基に平成28年度3R推進ポスターを制作した。10月の3R推進月間に合わせて、3R推進ポスターをWebサイトから閲覧、ダウンロードできるようにした。会員や地方公共団体(表彰の推薦機関)等に887枚配布するとともに、10月に行われたリデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰式会場内に最優秀賞、佳作作品(合計12点)を展示した。

1) 実施状況

平成28年1月29日~6月10日	3R推進ポスターデザイン公募(応募総数:134作品) 募集方法(全国のデザイン関連大学・専門学校に郵送、当協議会ホームページ、公募サイト登竜門(有料)、公募ガイド(無料等)
平成28年6月30日	デザイン選考会(平成28年度第2回企画運営委員会)
平成28年8月8日	コンテスト受賞結果発表(最優秀作品賞1点、佳作11点)
平成28年9月1日	平成28年度3R推進ポスターの公開及び配付(会員、地方公共団体(表彰の推薦機関)等 455宛先に887枚)
平成28年10月20日	第11回3R推進全国大会の当協議会ブースにて展示
平成28年10月25日	3R推進功労者等表彰の表彰式会場で入賞作品を展示

(デザイン選考会の様子)



最優秀賞作品はデザイン性が高いと評価され、雑誌『公募ガイド 2016年11月号』(入選作品 PICK UP コーナー)に掲載された。



(平成28年度3R推進ポスター)



2) 広報

制作した3R推進ポスターを次のようなメディア等で広報した。

Web: 協議会ホームページ、(一社)廃棄物資源循環学会等ホームページのお知らせ欄
メルマガ: 3R・低炭素社会検定合格者メルマガ(5,508件)、3R推進フォーラムメルマガ
(約6,000件)

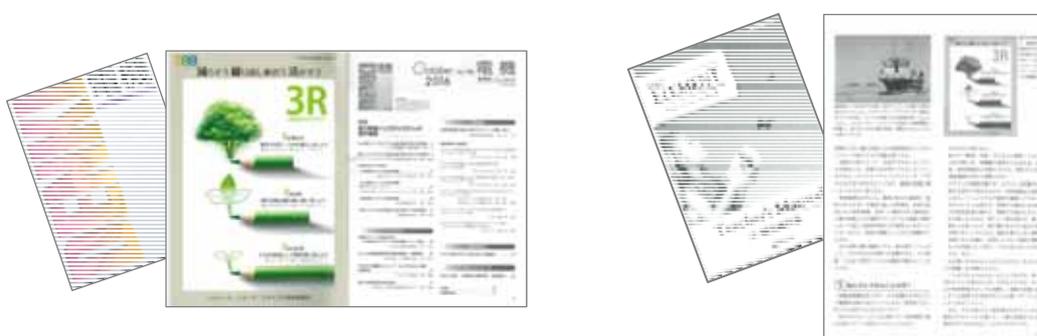
3) 他団体等による活用事例

制作した3R推進ポスターは様々な用途で使用され、当協議会の名前や活動を伝える事に貢献した。

機関紙『電機』((一社)日本電機工業会)

高校英語 教師用指導書

『ELEMENT Teacher's Manual』(啓林館)



(5) 3R関連団体とのイベント協業(セミナー、シンポジウムの後援、共催、出展等)

会員団体、省庁、3R関連団体の活動に対し、後援、参画、共催することで、幅広く3R活動の支援や啓発を行った。

<実施状況>

共催 1イベント(3R活動推進フォーラムとの共催)

出展 1イベント(3R推進全国大会)

後援 2イベント(3R推進団体連絡会、スチール缶リサイクル協会)

協賛 1イベント(エコマテリアル・フォーラム他3団体)

1) 他団体との共催イベントの実施

3R活動推進フォーラムとの共催セミナーを開催した。

当日配付した講演資料は、協議会ホームページで公開している。

開催日時: 平成29年2月2日

開催場所: アイビーホール(東京・青山)

講演内容: 基調講演(慶応義塾大学経済学部教授 細田 衛士氏)

話題提供(環境省、経済産業省、農林水産省)

出席者: 119名(講師、運営スタッフを除く)

(当日の様子)



2) 他団体等主催のイベントへの出展

第11回3R推進全国大会(環境省、環境省中国四国地方環境事務所高松事務所、徳島県、3R活動推進フォーラム主催)にてブース展示を行った。

3) 他団体等主催のイベントを後援(2イベント)

- ・3R推進団体連絡会主催「第11回容器包装3R推進フォーラム」
- ・スチール缶リサイクル協会主催「実践活動としてのスチール缶を含む集団回収を通じて環境学習に取り組む小・中学生への支援事業」

(6) 優れた3R活動事例の普及啓発(3R推進功労者等表彰受賞者の活動広報) <再掲>

3R推進協議会のホームページで公開している「受賞者のその後の取組」(3R推進功労者等表彰 大臣表彰受賞者のその後の取組の紹介)の内容を充実させ、優れた3R活動の更なる普及啓発を図るため、平成25、26年度の内閣総理大臣賞及び大臣賞受賞者について、受賞後の取組状況や発展状況のフォローアップ調査を開始した。

また並行して、過去に実施したフォローアップ調査(対象年度:平成17~24年度)の再フォローもを行っている。

これらの結果を取り纏め、平成29年度中にホームページの「受賞者のその後の取組」の内容を更新する予定である。

(参考)「受賞者のその後の取組」

http://www.3r-suishinkyogikai.jp/event/case_study

(7) ホームページによる情報発信の強化

これまでに引き続き協議会ホームページのトップ画面の画像広告及び新着情報欄にて3Rに関する情報や協議会会員からのお知らせを発信した。

(トップページの新着情報)

- ・協議会トピック 25 トピック掲載
- ・会員団体からのお知らせ 16 トピック掲載

10月には、会員団体や3R関係省庁が3R推進月間に予定する行事や広報活動をヒアリングして、とりまとめた結果を経済産業省に情報提供するとともに、協議会ホームページで紹介した。

(その他)

次の内容を新たに掲載

- ・平成28年度優秀3R推進活動発表会(「講演会」ページに当日配付した資料を追加)
- ・平成28年度3R推進ポスター(選考結果、平成28年度ポスターの紹介)
- ・平成28年度の表彰結果
- ・平成29年度の表彰推薦募集案内
- ・平成29年度3R推進ポスター(募集案内)
- ・3R連絡会、3R活動推進フォーラムとの共催セミナー(「3R連絡会」ページに当日配付した資料を追加))

以上

決算報告

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 平成28年度収支決算書（平成29年3月末時点）

自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差 額	備 考
収入の部				
1. 会費収入	4,690,000	4,610,000	80,000	
2. 雑収入（受取利息収入等）	0	47	47	
3. 前期繰越収支差額	4,460,000	4,460,531	531	
当期収入合計（A）	9,150,000	9,070,578	79,422	
支出の部				
1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰事業の実施	3,850,000	3,741,829	108,171	表彰式会場費、委員会関係費、推薦要領・表彰結果冊子印刷費・発送費、表彰状作成費等
2. 3Rキャンペーンマークの普及	30,000	153,360	123,360	「3Rキャンペーンマークの手引き」を増刷（全市町村に配付）
3. 企画運営委員会経費	0	0	0	交通費等は各委員又はその所属団体が負担。場所は経済産業省の会議室にて実施
4. 3R推進事業費	1,000,000	703,983	296,017	サーバーレンタル費、ドメイン名使用料、事例発表会講演者の謝金・交通費、3R推進ポスター（作品募集、印刷、賞金）、3R全国大会出展、3R活動推進フォーラムとの共催イベント（会場費、謝金、印刷費等）
5. その他経費	100,000	27,476	72,524	総会・理事会開催費用
6. 事務局経費	0	0	0	上記1～5に係る事務局経費（人件費及び事務局運営諸費用）。実際に発生した事務局経費は、協議の結果、産業環境管理協会が負担
7. 管理費	150,000	151,054	1,054	通信費、消耗品購入費、封筒印刷費、振込手数料等（直接事務に係る費用のみ。事務局運営諸費用を除く）
当期支出合計（B）	5,130,000	4,777,702	352,298	
当期収支差額（A） - （B）	4,020,000	4,292,876	272,876	

正味財産増減計算書
(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額
増 加 の 部	
当期経常収益	4,610,047
増 加 額 合 計	4,610,047
減 少 の 部	
当期経常費用	4,777,702
減 少 額 合 計	4,777,702
当期正味財産増減額	167,655
前期繰越正味財産額	4,460,531
期末正味財産合計額	4,292,876

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
現金	34,700	未払金等	28,227
普通預金	4,031,059		
前払費用等	255,344	正味財産の部	4,292,876
合 計	4,321,103	合 計	4,321,103

財 産 目 録

平成29年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
資 産 の 部	
現金 現金手許残高	34,700
普通預金 三菱東京UFJ銀行本店	4,031,059
前払費用	255,344
資 産 合 計	4,321,103
負 債 の 部	
未払金など	28,227
負 債 合 計	28,227
正 味 財 産	4,292,876

計算書類に対する注記（平成28年度）

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金、預金、前払費用及び未払金を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は2.に記載のとおりである。

(2) 消費税は、税込方式を採用している。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	73,490	34,700
普 通 預 金	4,339,388	4,031,059
前 払 費 用	75,880	255,344
（ 合 計 ）	4,488,758	4,321,103
未 払 金	28,227	28,227
（ 合 計 ）	28,227	28,227
次期繰越収支差額	4,460,531	4,292,876